

情報 ひがし労

仙台地本 小牛田運輸区分会 長嶺清隆さんの投稿が 11月17日の「河北新報」に掲載されました！

丸森町の復興支援ボランティア活動に参加して

長嶺 清隆 36歳

(宮城県亘理町・会社員)

本紙やネットで情報を確認し、9日、丸森町の災害ボランティアに妻と一緒に参加しました。

ボランティアセンターで受け付けを済ませ、用意されたマイクロバスに乗り、20人のグループで被災したお宅に向かいました。

バスの運転手の方の話では「この辺りは丸森町の中でも一番被害の大きかった場所」とのこと。その地区までの道路がようやく通れるようになったところで、さらに大雨の被害を受けたそうです。台風19号の襲来から1カ月近くたつのに、手付かずのお宅が多く、泥が大量に残っていました。私は「家の方が少しでも早く以前の生活に戻るように」という気持ちで、水をかぶった家財道具の搬出や泥かきなどをしました。

自宅へ帰る途中、地元のお年寄りの方がボランティアの人たちの車に向かって、何度も頭を下げているのを見ましたが、「困っている時はお互いさま」です。

丸森町では災害ボランティアが不足しています。どんなに人がいても足りない状況です。その場に立たないと分からないこと、感じられないことは多くあります。少しの勇気を出して参加してみませんか？



※写真は10月23日に参加しました宮城県丸森町でのボランティア活動です

**災害復興は道半ば！まだまだボランティアが足りません！
一日も早く安心して暮らせる様に支援・連帯の輪を広げていきましょう！**